■消防団編■

本市の消防団は、田辺藩時代から消防組が組員数２０３名をもって構成されており、明治２７年勅令第１５号により「消防組規則」が公布され、各地域に『消防組』が設立され、昭和１４年警防団令の公布により『警防団』に名称を改称後、昭和２２年１０月に東団・西団の２個団体制で消防団が誕生しました。その後昭和２８年４月に舞鶴消防団の機構を改革し、昭和３２年５月２７日加佐町が舞鶴市に編入これに伴い消防団条例及び規則が改正され、現在の体制である東地区９個団、西地区１１個団の合計２０個団となりました。（定員１，５８３名）

昭和４７年６月２８日舞鶴市消防団条例の一部を改正し、団員定数を１，３８０名、令和２年５月１日に条例の一部を改正し団員定数を１，１００名にそれぞれ改正を行いました。

また近年、本市においても人口減少や少子高齢化等の影響を受け団員数減少及び平均年齢の上昇が課題となったことから、消防団で協議が進み、将来にわたり消防団による地域防災力を確保し続けるための第一歩として、令和５年４月１日、７０年ぶりに組織改編し「一団制」に移行、新たな歴史の一歩を踏み出しました。

■ 分団管轄区域図

消防団本部
（舞鶴市東消防署・防災センター２階）
東大浦
朝来
志楽
相母谷
与保呂
東
南
西大浦
中
余内
池内
西
中筋
神崎
八雲
四所
高野
八雲
岡田下
土田園
岡田中
岡田上
岡田上

消防団員数推移

■　消防団員数推移（４月１日現在）

年次	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	総数	平均
昭和24年	2	4	15	16	44	92	1,403	1,576	
昭和25年	2	4	15	16	47	88	1,407	1,579	1,568
昭和26年	2	4	15	16	47	88	1,407	1,579	
昭和27年	2	4	15	17	46	103	1,349	1,536	
昭和28年	15	15	廃止	廃止	45	90	1,035	1,200	
昭和29年	15	15			45	94	1,019	1,188	1,190
昭和30年	15	15			45	98	1,014	1,187	
昭和31年	15	15			45	99	1,011	1,185	
昭和32年	20	20			62	124	1,338	1,564	
昭和33年	20	20			63	118	1,333	1,554	
昭和34年	20	20			63	118	1,333	1,554	
昭和35年	20	20			62	123	1,355	1,580	
昭和36年	20	20			62	123	1,344	1,569	
昭和37年	20	20			62	123	1,343	1,568	
昭和38年	20	20			62	123	1,338	1,563	
昭和39年	20	20			62	123	1,332	1,557	1,555
昭和40年	20	20			62	123	1,313	1,538	
昭和41年	20	20			62	123	1,316	1,541	
昭和42年	20	20			62	123	1,319	1,544	
昭和43年	20	20			62	123	1,316	1,541	
昭和44年	20	20			62	123	1,326	1,551	
昭和45年	20	20			62	123	1,328	1,553	
昭和46年	20	20			62	123	1,320	1,545	
昭和47年	20	20			65	154	1,112	1,371	
昭和48年	20	20			65	154	1,113	1,372	
昭和49年	20	20			65	154	1,112	1,371	
昭和50年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和51年	20	20			65	154	1,120	1,379	1,377
昭和52年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和53年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和54年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和55年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和56年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和57年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和58年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和59年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和60年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和61年	20	20			65	154	1,119	1,378	1,377
昭和62年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和63年	20	20			65	154	1,118	1,377	
平成元年	20	20			65	154	1,113	1,372	
平成2年	20	20			65	154	1,112	1,371	
平成3年	20	20			65	154	1,114	1,373	
平成4年	20	20			65	154	1,110	1,369	
平成5年	20	20			65	154	1,106	1,365	
平成6年	20	20			65	154	1,092	1,351	
平成7年	20	20			65	154	1,084	1,343	
平成8年	20	20			65	154	1,087	1,346	
平成9年	20	20			65	153	1,084	1,342	1,350
平成10年	20	20			65	153	1,083	1,341	
平成11年	20	20			64	152	1,089	1,345	
平成12年	20	20			65	153	1,092	1,350	
平成13年	20	20			65	153	1,094	1,352	
平成14年	20	20			65	153	1,082	1,340	
平成15年	20	20			65	153	1,070	1,328	
平成16年	20	20			65	153	1,065	1,323	
平成17年	20	20			65	153	1,058	1,316	
平成18年	20	20			65	154	1,052	1,311	
平成19年	20	20			64	154	1,041	1,299	1,293
平成20年	20	20			65	154	1,029	1,288	
平成21年	20	20			65	154	991	1,250	
平成22年	20	20			65	154	975	1,234	
平成23年	20	20			65	154	977	1,236	
平成24年	20	20			65	154	958	1,217	
平成25年	20	20			65	153	907	1,165	
平成26年	20	20			65	153	849	1,107	
平成27年	20	20			65	153	847	1,105	
平成28年	20	20			65	153	823	1,081	
平成29年	20	20			65	153	822	1,080	1,088
平成30年	20	20			65	153	812	1,070	
令和元年	20	20			65	153	798	1,056	
令和2年	20	20			64	153	755	1,012	
令和3年	20	20			64	152	729	985	
令和4年	20	20			64	152	711	967	
令和5年	1	2	20	20	62	141	694	940	
令和6年	1	2	20	20	62	129	698	932	924
令和7年	1	3	20	20	61	131	671	907	
令和8年	1	3	20	20	61	130	638	873	

過去平均	過去10年
1,331	982

■ 消防団員配置状況

（令和８年４月１日）

	定数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	うち女性	うち学生	うち外国人
本部	5	1	3						4			
東	47			1	1	5	6	19	32	8		
中	31			1	1	4	5	7	18	1		
南	37			1	1	4	6	12	24			1
与保呂	45			1	1	3	4	27	36			
祖母谷	58			1	1	3	4	44	53			
志楽	70			1	1	2	6	42	52			
朝来	55			1	1	4	8	35	49	5	1	1
東大浦	100			1	1	3	6	67	78			
西大浦	128			1	1	4	11	94	111			
西	37			1	1	3	5	16	26	4		
余内	34			1	1	2	5	20	29	5		1
池内	55			1	1	2	8	25	37			
中筋	40			1	1	2	8	25	37			
高野	40			1	1	2	6	21	31		1	
四所	51			1	1	2	7	30	41			
岡田上	55			1	1	2	4	31	39	1		1
岡田中	68			1	1	5	8	43	58			
岡田下	61			1	1	4	8	32	46			
八雲	47			1	1	3	11	28	44			
神崎	36			1	1	2	4	20	28			
合計	1,100	1	3	20	20	61	130	638	873	24	2	4

定数	充足率
1,100	79%

消防団員平均年齢調べ

■　消防団員平均年齢調べ

（令和8年4月1日）

階級 / 分団名	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	平　均
本　部	67	59						61
東			61	51	52	46	37	42
中			66	46	45	49	31	42
南			52	51	55	52	29	41
与保呂			47	48	50	44	47	47
祖母谷			55	48	51	42	50	50
志　楽			52	52	56	44	47	47
朝　来			51	50	47	44	43	44
東大浦			51	53	48	48	47	48
西大浦			53	48	50	48	46	46
西			47	49	52	48	41	44
余　内			58	44	45	40	47	46
池　内			65	60	56	50	54	54
中　筋			63	58	61	54	49	51
高　野			56	55	52	48	47	48
四　所			56	37	50	47	47	47
岡田上			59	58	56	40	49	49
岡田中			53	49	49	51	50	50
岡田下			56	52	51	50	47	49
八　雲			58	55	53	53	45	48
神　崎			57	50	50	50	49	49
現在員	1	3	20	20	61	130	638	873
小数点第１位四捨五入								
平均年齢	67	59	56	51	51	48	47	47

■　消防団員平均勤続年数調べ

（令和8年4月1日）

階級 / 分団名	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	平　均
本　部	40	28						31
東			34	18	15	9	8	10
中			27	13	20	14	6	13
南			32	28	22	16	4	13
与保呂			22	16	23	13	19	19
祖母谷			28	14	21	11	18	18
志　楽			27	20	22	16	18	18
朝　来			24	27	16	15	14	15
東大浦			25	32	23	20	21	21
西大浦			29	21	21	18	17	18
西			27	10	23	14	8	12
余　内			33	23	18	10	10	11
池　内			33	36	25	17	21	21
中　筋			28	28	24	18	14	16
高　野			27	22	24	15	12	14
四　所			27	12	19	14	16	16
岡田上			32	23	23	14	18	19
岡田中			24	27	17	21	21	21
岡田下			21	17	21	19	17	18
八　雲			27	24	19	18	10	13
神　崎			34	26	28	26	20	22
現在員	1	3	20	20	61	130	638	873
小数点第１位四捨五入								
平均勤続年数	40	28	28	22	21	16	16	17

消防団機械器具配置状況

■　消防団機械器具配置状況

（令和８年４月１日）

機械器具等 / 分団名	消防ポンプ自動車	ポンプ付積載車小型動力	小型動力ポンプ搬送車	小型動力ポンプ	デジタル簡易無線			デジタル受令機
					車載	卓上	携帯	
団本部							4	
東分団	3				3	1	13	4
中分団	1		1	1	2	1	10	3
南分団	1				1	1	12	2
与保呂分団		1	2	2	1	1	9	2
祖母谷分団		1	2	2	1	1	9	2
志楽分団		1	2	6	1	1	10	2
朝来分団	1		2	3	1	1	14	2
東大浦分団		1	4	9	1	1	11	2
西大浦分団		1	4	9	1	1	17	2
西分団	2			1	2	1	12	3
余内分団	1				1	1	9	2
池内分団	1		2	4	1	1	12	2
中筋分団	1		1	1	1	1	12	2
高野分団	1		1	1	1	1	10	2
四所分団	1		2	2	1	1	11	2
岡田上分団	1	1	1	1	2	1	8	3
岡田中分団	1		3	6	1	1	15	2
岡田下分団	1		1	3	1	1	14	2
八雲分団	1		2	2	2	1	16	3
神崎分団	1		1	2	1	1	8	2
合計台数	18	6	31	55	26	20	236	46

■　消防団機関表彰歴（表彰歴は多団制時）

（令和８年４月１日）

表彰区分 ＼ 分団名	総務大臣感謝状	消防庁長官		京都府知事			日本消防協会長			京都府消防協会長		
		表彰旗	竿頭綬	特別表彰旗	表彰旗	竿頭綬 団	まとい	表彰旗	竿頭綬 団	表彰旗 団	竿頭綬 団	無火災竿頭綬
団　本　部												
東　分　団	R2.3.9	H22.3.5	H2.3.8			S60.10.23				H7.1.1		
中　分　団		H23.3.3	H3.3.6			S48.10.19 S62.3.30				H8.1.1	S45.12.1	
南　分　団		H24.3.8	H4.3.4			S54.3.14 S62.10.14				H9.1.1	S50.12.1	
与保呂分団		H25.3.6	H5.3.3			S52.3.18 H1.3.30				H10.1.1	S48.12.1	H22.1.1
祖母谷分団		H26.3.5	H6.3.2			S54.11.9 H1.10.26				H11.1.1	S51.12.1	H13.1.1 H27.11.15
志楽分団		H27.3.6	H7.3.2			S48.3.22 H2.11.27				H12.1.1	S44.12.1	
朝来分団		H28.3.9	H8.3.6			S56.3.18 H3.10.23				H13.1.1	S52.12.1	
東大浦分団		H29.3.8	H9.3.5		S41.11.15	H4.11.24			S34.12.1	S34.12.1 H14.1.1		
西大浦分団		H30.3.7	H10.3.7			S44.10.16 H6.1.30				S44.12.1 H15.1.1		
西　分　団		H30.3.7	H11.3.5			S60.3.29 H6.11.29		S27.12.1		H16.1.1	S57.1.1	
余内分団		H31.3.6	H12.3.8			S56.10.27 H7.11.26				H17.1.1	S53.12.1	
池内分団		H31.3.6	H13.3.8			S52.10.21 H8.12.4				H18.1.1	S49.12.1	
中筋分団		R2.3.4	H14.3.6			S43.10.24 H10.2.1				S42.12.1 H19.1.1		
高野分団		R2.3.4	H15.3.5			S50.10.30 H11.1.28				H20.1.1	S47.12.1	H8.1.1 H11.1.1 H14.1.1 H27.11.15
四所分団		R3.3.10	H16.3.4			S58.3.25 H11.11.28				H21.1.1	S54.12.1	
岡田上分団		R3.3.10	H17.3.4			S46.3.25 H13.1.28				H22.1.1	S42.12.1	
岡田中分団		H21.3.6	S62.3.4			S46.10.21 H14.2.3				H6.1.1	S43.12.1	
岡田下分団		R4.3.2	H18.3.3			S42.10.30 H15.2.2				S37.12.1 H23.1.1		
八雲分団		R4.3.2	H19.3.2			S50.3.28 H15.11.30				H23.11.20	S46.12.1	S37.12.1
神崎分団		R5.3.10	H20.3.7			S58.11.4 H17.2.6				H25.2.10	S55.12.1	H15.1.1 H20.1.1

■　舞鶴市消防団長連絡協議会

消防庁長官褒状	H17.2.25	台風23号豪雨災害
水防功労者国土交通大臣表彰	H31.2.13	平成30年度７月豪雨災害
防災功労者内閣総理大臣表彰	R1.9.20	平成30年度７月豪雨災害

■ 消防団協力事業所表示制度

現在、舞鶴市の消防団では、産業構造や就業構造等の変化に伴い消防団員のサラリーマン化が進んでいます。このため、事業所の従業員が消防団に入団しやすく、消防団員となった従業員が消防団活動しやすい環境作り及び事業所が所有する防災力の提供等の協力を得ることが出来た場合に、当該事業所に対し表示証を交付し、事業所が消防団への協力、地域への社会貢献を果たしていることを広く社会的に評価するもので、この制度により舞鶴市の消防団と事業所との連携・協力体制が強化され、地域における消防・防災体制の充実強化を図ることを目的とした制度です。

■ 消防団協力事業所表示証交付事業所 （令和 8 年 4 月現在）

交付順：敬称略

1	ジャパンマリンユナイテッド株式会社舞鶴事業所	平成 24 年 3 月 7 日
2	日本板硝子株式会社舞鶴事業所	平成 24 年 3 月 7 日
3	京都北都信用金庫（東舞鶴中央支店・舞鶴中央支店）	平成 24 年 3 月 7 日
4	京都丹の国農業協同組合（舞鶴東支店・舞鶴西支店）	平成 24 年 3 月 7 日
5	NGS Auto PLUS 株式会社(旧日硝興産㈱舞鶴支店）	平成 27 年 2 月 1 日
6	小西商事株式会社	平成 27 年 10 月 1 日
7	弥栄電設工業株式会社	平成 27 年 10 月 1 日
8	賀川自動車工業株式会社	平成 27 年 10 月 1 日
9	志摩機械株式会社	平成 27 年 10 月 1 日
10	京都府漁業協同組合	平成 28 年 3 月 25 日
11	田井水産有限会社	平成 28 年 3 月 25 日
12	株式会社野原水産	平成 28 年 3 月 25 日
13	日立造船株式会社舞鶴工場	平成 28 年 3 月 25 日
14	福村建設株式会社	平成 28 年 3 月 25 日
15	日之出化学工業株式会社　舞鶴工場	令和　3 年 9 月 10 日
16	田中産業株式会社	令和　3 年 9 月 10 日
17	日本通運株式会社　舞鶴支店	令和　3 年 10 月 8 日
18	社会福祉法人安寿会　特別養護老人ホーム「安寿苑」	令和　5 年 3 月 3 日
19	特別養護老人ホーム　グレイスヴィルまいづる	令和　5 年 7 月 1 日
20	社会福祉法人成光苑　ライフ・ステージ舞夢	令和　5 年 7 月 1 日
21	社会福祉法人成光苑　ライフ・ステージ夢咲	令和　5 年 7 月 1 日
22	西舞鶴郵便局	令和　6 年 7 月 1 日
23	東舞鶴郵便局	令和　6 年 7 月 1 日
24	小阪金属工業株式会社	令和　7 年 9 月 1 日
25	株式会社イマヤス	令和　7 年 9 月 1 日

「消防団協力事業所表示制度」表示マーク

「消防団協力事業所表示証」